

平成22年度 食品検査状況



1 残留農薬

平成22年度は野菜や果実等の農産物153検体（国産品108、輸入品45）について延べ16,020農薬の残留農薬検査を行いました。検査の結果、153検体中81検体（検出率52.9%）から農薬が検出されました。食品衛生法に定められている残留基準を超えた検体は、春菊2検体でペンテメタリンとホスカリドが基準超過しました。検出した農薬のほとんどは基準値の1/10から1/100の低い値でしたが、今後も継続して監視する必要があると考えています。

残量農薬検査結果の概要

	国内産		輸入品		全体	
	検体数	検査項目数	検体数	検査項目数	検体数	検査項目数
野菜	51	6120	27	3240	78	9360
果実	27	3240	18	2160	45	5400
玄米	10	1200	-	-	10	1200
畜肉	20	60	-	-	20	60
合計	108	10620	45	5400	153	16020
検出数	48	112	33	70	81	182
検出率(%)	44.4	1.1	73.3	1.3	52.9	1.1
残留基準超過数	2					



2 動物用医薬品

平成22年度は県内産鶏卵（11検体）、はちみつ（9検体）、県内産養殖魚（3検体）、輸入牛肉（7検体）について延べ1,798項目の検査を実施しましたが、すべて不検出でした。

動物用医薬品検査結果の概要

品名	検体数	検査項目数	検査結果
鶏卵	11	55	不検出
はちみつ	9	67	
養殖魚(サケ目)	2	66	
養殖魚(その他)	1	66	
輸入牛肉	7	56	
合計	30		





3 食品添加物

平成 22 年度は合成保存料 28 検体、酸化防止剤 10 検体、合成着色料 12 検体、甘味料 10 検体について検査を行いました。その結果、食品衛生法で定める使用基準、表示基準に違反した食品はありませんでした。

食品添加物検査結果の概要

種類	検体数	検査項目	検査結果
保存料	28	安息香酸、ソルビン酸、パラオキシ安息香酸エステル類	使用基準及び表示基準 違反なし
酸化防止剤	10	tert-ブチルヒドロキノン	
着色料	12	食用赤色2,3,40,102,104,105,106号、、黄色4,5号、 緑色3号、青色1,2号	
甘味料	10	サイクラミン酸	
合計	60		



4 遺伝子組換え食品

平成 22 年度は、とうもろこし加工食品（6 検体）を対象に検査を行いました。その結果、とうもろこし加工食品では未審査組換え体 Bt10 が検出された食品はありませんでした。

遺伝子組換え食品検査結果の概要

品名	検体数	検査項目	検査結果	
			不検出	検出
とうもろこし加工品	6	未審査組換え体Bt10定性	6	0
合計	6			

5 アレルギー物質

平成 22 年度は、「そば」混入のおそれのある小麦粉食品及び米粉食品 20 検体について、キットによるスクリーニング検査及び PCR 法による確認検査を行いました。その結果、スクリーニング検査および確認検査で 20 検体すべてで「そば陰性」の結果でした。また、注意喚起表示があった検体は 12 検体ありました。



アレルギー物質検査結果の概要

品名	検体数	そば陽性	備考
うどん	11	0	注意喚起表示7検体
中華めん	5	0	注意喚起表示2検体
じゃじゃ麺	1	0	注意喚起表示1検体
冷麺	1	0	注意喚起表示1検体
米めん	1	0	
そうめん	1	0	注意喚起表示1検体
合計	20	0	

